

「横浜こどもホスピスプロジェクト」にチャリティー寄附金を贈呈します

「2022ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会」では、「医療・福祉」に寄与することを目的として「チャリティーエントリー枠」を設け、一般の大会参加者から寄附を募りました。おかげさまで、137名から合計137万円の寄附をいただきました。

このたび、チャリティーエントリーのテーマに設定した「医療・福祉」の観点から、療養生活を送る子どもや家族を支えるための施設を運営している「認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト」にチャリティー寄附金を贈呈します。

1 寄附先

寄附先	寄附選定理由
認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト	<p>「横浜こどもホスピスプロジェクト」は、既存の医療・福祉制度の狭間を埋めるため、療養生活を送る子どもや家族を支えるための地域コミュニティ型の通所施設として、令和3年11月横浜市金沢区に「うみとそらのおうち」を開所し、療養中の子どもが家族や友達と一緒に遊んだり、やってみたいことにチャレンジしたりと、思い思いの時間を過ごす施設です。同施設は、医療施設ではないため、横浜市からの事業費の一部補助のほか、地元企業や個人からの寄附金により運営されています。</p> <p>今後、トライアスロンを通じ、施設運営の安定化の一助と社会問題の解決に寄与するとともに、利用する子どもたちが家族や友人と楽しく有意義な時間を過ごし、更には、寄附者との絆を感じ、深めていただくことを目的に寄附先として選定いたしました。</p>

2 チャリティー寄附金贈呈式概要

日程	令和4年11月27日(日)		
時間	12時05分~12時25分		
会場	横浜市庁舎1階アトリウム		
出席者	大会組織委員会	山口 宏	組織委員会副会長／(公財)横浜市スポーツ協会会長
		直井 ユカリ	組織委員会委員／横浜市市民局スポーツ統括室長
		栗田 るみ	組織委員会委員／(公財)横浜市スポーツ協会代表理事
	立会人	大久保 拳志	(公社)日本トライアスロン連合顧問／組織委員会事務総長
	ハマトランバサダー	上田 藍	プロトライアスリート・オリンピック(リソル・稲毛インター)
	横浜こどもホスピスプロジェクト	田川 尚登	代表理事
寄附金額	1,370,000円		

当日取材をご希望の方は上記の日時・会場にお越しいただき、「受付」にてお申出下さい。また、このチャリティー贈呈式は横浜市資源リサイクル事業協同組合の主催する「SDGs未来都市・環境絵日記展2022」と協力し実施するものです。

大会ウェブサイトでもご確認いただけます。
<https://yokohamatriathlon.jp/wts/>

トライアスロン 横浜



お問合せ先

市民局 スポーツ振興課担当課長	高向 勉	TEL 045-680-5538
(公財)横浜市スポーツ協会 大規模スポーツイベント担当部長	中川 修二	TEL 045-680-5538

※お問合せや取材については、大規模スポーツイベント担当部長までお願いします。